

六篠会報

第4号
発行
神戸市灘区六甲台町一
神戸大学農学部内
六篠会
(神戸大学農学部同窓会)
印刷 日本住所調査センター

全学同窓会の共同体

『神戸大学学友会』について

会長 西川欣一

六篠会員の皆様、社会におけるきびしい道をお元気で御活躍、御前進のこと深甚なる敬意を表します。

さて、一昨年発行しましたこの「会報3号」で、全神大卒業生の共同利用の場として「神大クラブ(会館)」の構想と、会館建設のための募金会が発足する旨をお伝えしましたが、その後何の連絡もなく、いつか神大

クラブはどうなっているのかと御心配の方も多いかと存じますので、その後の経過を述べ皆様の御理解と御協力を得たいと思っております。

「学友会」構想の発端は、最近の卒業生は入学当初、教養部と一緒に教育を受けている関係上、卒業してからの各学部毎の同窓会活動よりも、神大全体の意識が強くなっていることにあります。

「学友会」(経済・経営・法同窓会)とKTC(工同窓会)は社団法人化されており、神緑会(医同窓会)も目下法人化を研究しており、教育学部同窓会は旧師範系の甲陽会をはじめとする3つの同窓会と合同合併するべく、各学部毎に家庭の事情が夫々異なるため、同窓会の全学一本化は大変むづかしい問題が多々あります。

そのため、各学部同窓会が共同出資して、神大クラブのような会館を建て、先ず共同利用を始めるのが神大全体の同窓会活動として好ましいと云う意見にまとまりました。

具体案としては、神戸三宮の新聞会館8階にオープンすることとして、これが完成すれば全学、各学部同窓会の各種会合や卒業生の生涯教育、市民大学講座等に活用出来るとして、募金委員会を発足させることに一旦決まったわけです。(会報前号時点)

しかし、実際運営段階で赤字になるようなことはないかと運営計画などを種々慎重に再検討したところ、拙速ではどうもうまく行きそうにないやうなこと、新聞会館側の工事受付締切り期限の切迫もあって、この新聞会館の借入計画を見送ることにしました。

そこで、計画を白紙に戻して、9学部の同窓会代表が新しいスタートラインから改めて毎月定例的に集って意見交換をする中で、新しい構想のもとに素晴らしいクラブを実現しようということになり、既に14回の学友会懇談会がもたれました。

その経過の主なものをあげれば次の通りです。

(1)、全学各学部同窓会の共同組織を固める。先の募金計画の際、趣意書と共に検討した学友会々々則を差し取りそのまゝ、凌霜会(経済・経営・法同窓会)理事長の大谷一三氏(東洋紡会長)にお願ひし、受諾された。会計は自分の間、同じく凌霜会事務局長の増田健一氏にお世話になることとし、会計監事にKTC(工同窓会)の近沢輝男氏(熊田工務店常務取締役)をお願いする。

(2)、学友会々々長を、凌霜会(経済・経営・法同窓会)理事長の大谷一三氏(東洋紡会長)にお願ひし、受諾された。会計は自分の間、同じく凌霜会事務局長の増田健一氏にお世話になることとし、会計監事にKTC(工同窓会)の近沢輝男氏(熊田工務店常務取締役)をお願いする。

(3)、学友会と神大当局との関係を強化する為、第8回懇談会以後、各同窓会は、学友会懇談会の当番月に夫々当該学部長の御出席を願うこととする。

(4)、凌霜会当番月(第9回)には、河本法学部長、則武経済学部長、海田経営学部長、藤田経済経営研究所長の4先生が御出席された。KTCの当番月(第11回)には、幾野学部長、松本工学部長が御出席された外、今までは須田前学部長、岩井医学部長はじめ各学部長の御出席が一巡している。

(5)、わが六篠会も第6回と第12回の懇談会を主催し、第12回には西羅学部長に御出席願ひ、「酒こぼれ話」の講演をしていただいた。六篠会としては会長及び幹事長(新家氏)はなるべく毎回出席するようにし、その外出席の方々にも交替で出席願ひして他学部同窓会の役員の方々と交流を行って行く。(既出席者、東・前川・氷上・中田・寺井各氏で未出席の幹事の方々にも順次出ていただく予定)

(6)、シンエフーズ(株)の御好意により、「金龍閣」バーグ等での神大関係者の飲食費の5%を協賛金として学友会に還元してもらっており、学友会々々計に現在約百二十万円が積立てられている。

以上が「神大学友会」の経過であるが、今後も各学部間の意志の疎通を図りながら会館実現の為、話し合いが続けられるので、六篠

の組織を固める。先の募金計画の際、趣意書と共に検討した学友会々々則を差し取りそのまゝ、凌霜会(経済・経営・法同窓会)理事長の大谷一三氏(東洋紡会長)にお願ひし、受諾された。会計は自分の間、同じく凌霜会事務局長の増田健一氏にお世話になることとし、会計監事にKTC(工同窓会)の近沢輝男氏(熊田工務店常務取締役)をお願いする。

(2)、学友会々々長を、凌霜会(経済・経営・法同窓会)理事長の大谷一三氏(東洋紡会長)にお願ひし、受諾された。会計は自分の間、同じく凌霜会事務局長の増田健一氏にお世話になることとし、会計監事にKTC(工同窓会)の近沢輝男氏(熊田工務店常務取締役)をお願いする。

(3)、学友会と神大当局との関係を強化する為、第8回懇談会以後、各同窓会は、学友会懇談会の当番月に夫々当該学部長の御出席を願うこととする。

(4)、凌霜会当番月(第9回)には、河本法学部長、則武経済学部長、海田経営学部長、藤田経済経営研究所長の4先生が御出席された。KTCの当番月(第11回)には、幾野学部長、松本工学部長が御出席された外、今までは須田前学部長、岩井医学部長はじめ各学部長の御出席が一巡している。

(5)、わが六篠会も第6回と第12回の懇談会を主催し、第12回には西羅学部長に御出席願ひ、「酒こぼれ話」の講演をしていただいた。六篠会としては会長及び幹事長(新家氏)はなるべく毎回出席するようにし、その外出席の方々にも交替で出席願ひして他学部同窓会の役員の方々と交流を行って行く。(既出席者、東・前川・氷上・中田・寺井各氏で未出席の幹事の方々にも順次出ていただく予定)

(6)、シンエフーズ(株)の御好意により、「金龍閣」バーグ等での神大関係者の飲食費の5%を協賛金として学友会に還元してもらっており、学友会々々計に現在約百二十万円が積立てられている。

以上が「神大学友会」の経過であるが、今後も各学部間の意志の疎通を図りながら会館実現の為、話し合いが続けられるので、六篠



農学部より新春の神戸港を望む

会員各位の御意見、御希望を是非お聞かせ下さい。

最後に支部についてのお願ひを一つ。

兵庫庫里に在職する六篠会員数が百十名に達したのを期に、去年9月26日舞子ピラにおいて、「県六篠会」が結成されました。六篠会の最大の職域支部として、今後の活躍を心より期待するものです。既に酒造関係の「延喜会」などの活動もあり、今後支部活動もよろしくお願ひ致します。特に神戸市職や東京支部などの支部結成を是非実現していただきたいと考えております。よろしくお願ひ申し上げます。

六篠会員各位の御活躍と御多幸をお祈りしながら、「神大学友会」の経過報告の筆をおかせていただきます。

この博士課程の大学院の創設の構想及び計画については、すでに昭和54年度に発刊されている六篠会報第3号で記述した。

昭和50年に、この大学院の検討が開始されて以来、幾多の難関を乗り越えて、母校の神戸大学は、現在

多くの関係者のご尽力により、この計画は具体化され、ついに予定どおり五つの専攻が昨春から揃って設置されるに至り、ユニークな3コースとしてスタートした。

母校の神戸大学は、現在では指折りの大きな規模と、そのレベルの高さを自負し得る総合大学へと発展してきた。同窓生の多くの方々は、母校の発展に伴う組織のマンモス化のために、学内組織の関連についても明確に把握しきれないのが実情ではないかと推察いたします。借越ながらこの機会に、自然科学研究科も含めた学内組織の関係を上のとおり図示してみました。

この自然科学研究科の大学院に関するパンフレットの冒頭に次の概要説明文が掲げられています。

一、自然科学研究科は、理学部、工学部及び農学部を母体とする後期三年のみの博士課程で、学部・修士課程とは別個の専攻領域・組織をもつ独立研究科である。

二、自然科学の主要な専門

四月より発足し、院生も入学し、新生の教育・研究の活動が開始されたことを皆様に報告致します。初代学長三宅先生が目標とされた建学の精神が維持・発展していきますことは同慶にたえない所です。

大学の本来は不変とは言うものの、我が農学部の歩みも過去がそうであったと同様に、将来においても時代的背景と無関係ではあり得ず、更に進む道は決して平坦でなく、想像以上に厳しい一九八〇年代を迎えています。このような時、私にははからずも農学部長に選ばれ、一昨年の九月に就任しました。その責任の重大さ

を痛感し誠意努力を致す覚悟です。卒業生皆様の活躍は大学の一つの力です。貴重な紙面をかりまして皆様に心からの御挨拶を申し上げます。今後とも何卒よろしく御声援・御協力をお願い致します。

皆様、お暇を生み出して六甲の地を訪れて下さい。六篠会の一層の御発展と会員の皆様の御多幸と、御健勝にての御活躍を心よりお祈り申し上げます。

前文の三条のとおり、入学資格については、特に配慮して、社会人に広く門戸を開放している点が本大学院の特色の一つである。同窓生諸兄においても、事情に応じて、研究と学習に専念する必要がある場合には、ちゅうちよするところなく、母校の門戸をたたけば、この博士課程に暖かく迎え入れられるものと思えます。

入学試験の時期は毎年10月で、各専攻ごとの学生の入学定員は7名または10名である。

詳細な事務的事項については知りたい方は次のところへご照会下さい。

神戸市灘区六甲台町一の一
神戸大学庶務部庶務課大学院
院掛(内線電話 二〇二四)

* * *
なお、農学部には既に各講座が所属する自然科学研究科の専攻については既に六篠会報第3号でお知らせしたとおりで、農学部の講座の過半は資源生物学専攻に所属し、残りの講座のうち、八講座は環境科学専攻、三講座は生産科学専攻にそれぞれ予定どおり所属している。



『神戸大学大学院自然科学研究科(後期三年博士課程)』の設置が完了

副会長 東 順二

農学部長 西羅 寛

『神戸大学大学院自然科学研究科(後期三年博士課程)』の設置が完了

サッカー部OB会より

いい汗かいてますか!?

昭和40年農化卒
農大サッカー部OB会幹事
山崎 潔

かつて農大が篠山にあった頃、サッカー部は丹波の猪の如く、広いグラウンドを走り回っておいしかったです。春には、桜吹雪の下、新入生を横目で物色しながら派手なシュート、ドリブル……。夏には、曲がらない足をむりしてしゃがみ、蚊と戦いながら汗を流した合宿でのトイレ……。

秋には、この一勝で関西リーグ三部昇格。汗と血の混じった執念、このキック……。冬には、北陸並みの積雪の中、何があってもボールを蹴った。大学生活、青春……、それは汗とグラウンドの土と草の匂い……。

お 願 い

住所変更はご連絡を

記載事項 会員番号、卒業年次・学科、氏名、現住所、勤務先、電話等の変更事項。
送り先 神戸市灘区六甲台町1 神戸大学農学部内
六篠会名簿係 山本 博昭 宛
※ 変更通知は、六篠会名簿の末尾に添付された私製葉書を御利用下さると便利です。

原稿募集

六篠会では、会員の皆様方からの原稿を募集しています。つきましては、当会へ原稿(会報の)をどしどしお寄せ下さい。尚、写真やイラストなどを添付していただければ幸いです。

企業が名を連ねます。と親善試合を行っており、脂肪のついたまわらぬ腹をもて余しながら(極く一部の会員、それでも勝ちにゆこの努力。集ったOB会メンバーは、おつき合い載っている若きメンバーの揃った相手チームには些か迷惑をかけたつても、勝利目指し、喉越しのビールを楽しむに秋の一日を本当に「いい汗」を流しています。また最近では、ジュニア達が大活躍でボールを蹴り始めました。これまた楽しみの一つです。さて、我々サッカー部OB会は、楠本初代会長らを中心に昭和38年発足以来と

音信が途絶えがちな友達へ

ぶざたしています

昭和53年畜産学卒
松本憲和

昨年(56年)の秋に帰省した折、なつかしの神大に寄つてみた。相変わらず急な坂にさすがに息を切らしてしまつた。私はまだ若いつもりで、実際体力には自信があるのだが、思えばこの坂を毎日(?)登り降りしていたとは。とりあげて神大が、という訳ではないが、神戸は本当に良いところである。いや、好きである。あの山並み、そして見おろす瀬戸内海、そしてその間に位置する細長い町、そこに4年間居たというだけでも幸せである。私は3年までは阪急六甲付近に、4年になつて

県六篠会の発足について

昭和33年農学卒
北浦義久

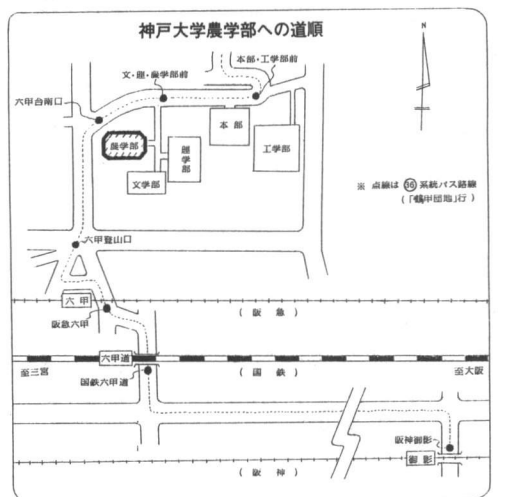
兵庫県に勤務している兵庫農大及び神戸大学農学部卒業生の集い「県六篠会」がこのたび誕生しました。昭和二十八年四月兵庫農大第一回卒業生の田中平義さんが、農業試験場に奉職されて以来、年々同窓生も増え、昨年春でその数も約一〇〇名に達し、農林水産部を中心に各部局で幅広く活躍するに至りました。従来から一部の有志を中心に時々同窓生の集いを開催しておりましたが、特に組織的な活動もありませんでした。そこで、今回の集いを契機として組織も明確にして、定期的に会合も開いてお互いの親睦を図るとともに、県政推進の糧にしようという意図がまとまり、名称も「県六篠会」として発足することになった訳です。九月二十六日、舞子ビラ

での発会には、五十名余の同窓生が集り、大学時代をしのび、県政を語り合いました。が、大学からも、西羅農学部長をはじめ、西川六篠会々長、東副会長等も出席され、大学の現状や同窓会の活動状況等も披露され、爽り多い発会式となりました。また新しい会長には兵庫農大一回生の田中平義氏、副会長には二回生の貴田正義、信西清人の両氏を選任し、年一回の総会の開催や、会員名簿の作成等、具体的な活動をすすめていくことになりました。

創立30周年記念事業 醸金者の方へ(続報)

- 〔植物防疫学科〕
43 佐藤 敬文 吉田 茂
44 諏訪 芳秀 馬庭 義則
45 山口 明 高田三智子
46 堀本 宗清 酒井 裕子
47 寺田 清彦
48 白井 敏 寺本 努
- 〔農産学〕
49 鍵本 正之 柴田 征一
50 大江 武 平谷 潔
51 中島 正行 太田 守彦
52 大原 保雄 寺岡 彰夫
53 吉田 公夫 加井 健二
54 岡根谷 幸次 納瀬 徹
55 一夫 照瀬 勝三
56 和明 丸山 新次
- 〔畜産学〕
57 中西 博信 川越 幸雄
58 下岡 文一 太田 章
59 多田三喜男 飛田 健吉
60 松本 晴義 竹内 碩
61 脇 喜和 芦田 郁夫
62 三木 泰之 木股 昌行
63 益田 和明 平位 修一
64 桐山 照久
- 〔大学院・農学研究科〕
65 計良 伸行 植田 訓弘
66 尾崎 通昭 新森 敏弘
67 福沢 一郎 大西 豊司
68 中舎 和孝 香川 正清

同じ職場に勤める同窓生の集いとして発足したこの小さな芽を大切に育て、大きな木に成長させるとともに、この会が県政推進の原動力となることを願っています。



マンという感じがするな、と思ったものだ。今の学生気質は私達の頃と少し違うかもしれないが、私は現在東京に居るが、先日は京の同期生と久しぶりに会って、背広が様になつていていかにもサラリーマンな感じがする。マジヤンに打ち興じ、あるいはバツカスの魔力に取り付かれた奴も居た。とにかくいろいろが居た。皆、元気でやつてるが、俺も頑張ってるから。



創立30周年記念品

- ☑ 写真集「農学部30年のあゆみ」 ￥2,500
《収録内容》
☆農学部・農科大学今昔; ☆年表・農学部30年; ☆古き良き兵庫農科大学(思い出深き学舎; 学生生活; 教官活動; 農大祭; おらが城下町「篠山」); ☆新しい出発神戸大学農学部(学舎; 神大生; 我が町「神戸」); ☆兵庫農科大学卒業写真集(昭和28年~昭和44年)
- ☑ 創立30周年記念「六篠会名簿」 ￥2,500
会則; 特別会員(教官、正会員(卒業生)、準会員(学生)の各名簿; 人名索引付 210頁
- ☑ 絵はがき集「農学部の四季」8枚組 ￥300

以上3点を醸金(1口5,000円)者に郵送申し上げます。農学部学術振興基金として活用されますので、いまだ醸金されてない方は是非共御協力の程お願い致します。既にお手持ちの方も、絵はがき等追加注文をお待ちしております。なお、御送金は同封の振替用紙を御利用下さい。



「農学部30年の歩み」の卒業写真集には、農大卒業生の方全員の名づかい顔が網羅されていますので、記念のため是非ご購入をおすすめします。

口座名 神戸大学農学部六篠会
口座番号 神戸 49706

振替用紙を紛失された方は、郵便局据付の振替用紙に左記の口座名・口座番号を記入の上、振込んで下さい。

滞独雑記

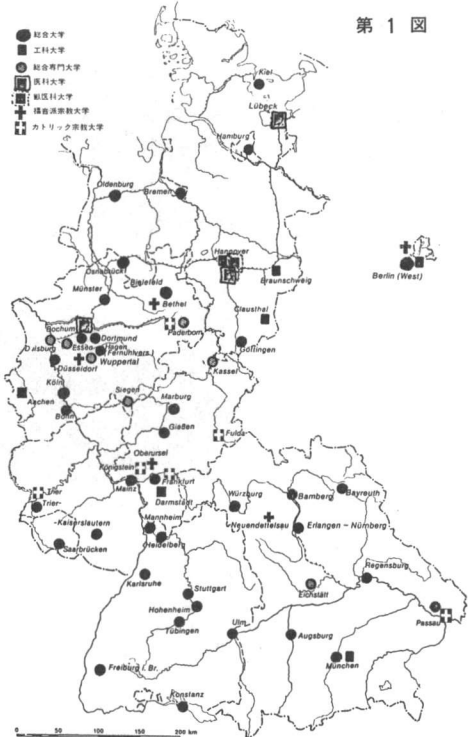
農化36年卒 土田広信

一昔とは違って、多くの人がビジネスで、また、パカンスにと海外渡航の可能な時代になりましたが、小生も周囲の方々の御厚意で一ヶ年間、滞独生活を体験する機会を得ました。その間、見聞したことを、二三述べることに致します。

西独大学の現状

周知のように、西独には、すでに創立五〇〇年以上という伝統のある大学が多いのですが、近年、入学志願者の急増に伴って、大学の増設、新設が行われ、現在では、同年齢層の五人に一人は大学進学、五人の二人は職業専門学校へ進学というようになっています。

大学の数は、第一図に見られるように、六十七校、このほかに教育大学が数校あるそうです。キリスト系大学を除くすべての大学が国立で、全大学学生総数は、九十五万人程度で、そのうち、五万二千人が外国人学生だそうです。日本のような大



第1図



ハイデルベルグ大学旧館

学入試は行われていないが、厳格なアビトゥール、いわゆる高校卒業試験があり、これにパスした者は、各自希望の大学学部に入學許可されるといふ仕組みになっています。しかし、理工系の学部では、志望者全員収容

することが不可となり、ある種の選考が行われているようです。大学での修業年限は定められておらず、マグスター、ディプロム及びドクターの試験に、又は国家試験にパスした段階で終了となります。ドクター称号を得た人の就職状況もよく、民間会社の研究所でも

ランクトソート、ハンバーク、チップポット等、高級品でシュニツェル(豚カツ)五マルク(五百円)という安さです。飲物はビール(小瓶)コーク(蒸溜酒)、グラスワインなどです。小生も度々利用しましたわけですが、同席した気さくな人

達から話掛けられることも度々でした。俺の車はトヨタ、ミツビシ、マツダ、ホンダ等と言いだすのから始まって、カメラ、時計、電気製品に至るまで話はずみ、それら日本製品のすばらしさを誉めてくれることが多

いのですが、ある時、労働者風のイタリア人いわく、日本車のために、俺は失業したという。また、ドイツ人紳士がドイツでは有名な週刊誌「Stein」を突出して来たので、見ると、表紙絵に日本人サラリーマンがド

パン用小麦として日本へも多く輸出されており、その意味では我が国とも関係の深い州です。マンハッタンはミズリー州との州境にあるカンザスシティから西へ二〇〇kmのところにあります。マンハッタン

の近くには旧サンタフェ街道、オレゴン街道が通り西側部開拓時代の遺跡もある。町の中央部に大学のキャンパスを持つ人口四万弱の大学町です。同市内には米国防務省グレン・マーケティン

住宅街は木々の街路樹、緑の芝生、白い家と、どの町へ行っても町角の風景は全く同じです。大都会はダウンタウンに大きなビルが並んでいること、異なる他は同じ。ほとんどの家は木造板張り、モルタル塗の家を見られた目は新鮮に感じた。春の花は日本では想像できないほどの美しさです。カンザスでは春から秋にかけて、トルネード(竜巻)が発生し、その警報がでると地下室またはシェルターに逃げ込む様になっていて、住宅はもちろん、大学、スーパーなどすべて地下シェルターを持っている。一般住宅では地下に予備の台所、寝室など持っています。直撃されたらとっとはや避難すること覚悟の上なのでしょう。日本では少なくとも公共の建物は予想される地震、台風には耐えられる様設計されているが、思想の違いと興味深く思えた。

マンハッタンはニューオーリンズの中心街の地名としてよく知られているが、同名の市が米国防務省州にある。このマンハッタンにカンザス州立大学のキャンパスがある。私は文部省の在外研究員としてカンザス州立大学に十ヶ月間滞在し、小麦のたん白質に関する研究に従事しました。またその間各地の穀物科学の研究者を訪問する機会を得ました。カンザス州はアメリカ合衆国の地理的中心に位置する州で、その面積は日本の57%、その全てが耕作可能な平地で、春雨が多く、夏乾燥し、小麦生産には理想的な地域です。小麦の生産量は全米第一位、良質な

パン用小麦として日本へも多く輸出されており、その意味では我が国とも関係の深い州です。マンハッタンはミズリー州との州境にあるカンザスシティから西へ二〇〇kmのところにあります。マンハッタン

の近くには旧サンタフェ街道、オレゴン街道が通り西側部開拓時代の遺跡もある。町の中央部に大学のキャンパスを持つ人口四万弱の大学町です。同市内には米国防務省グレン・マーケティン

住宅街は木々の街路樹、緑の芝生、白い家と、どの町へ行っても町角の風景は全く同じです。大都会はダウンタウンに大きなビルが並んでいること、異なる他は同じ。ほとんどの家は木造板張り、モルタル塗の家を見られた目は新鮮に感じた。春の花は日本では想像できないほどの美しさです。カンザスでは春から秋にかけて、トルネード(竜巻)が発生し、その警報がでると地下室またはシェルターに逃げ込む様になっていて、住宅はもちろん、大学、スーパーなどすべて地下シェルターを持っている。一般住宅では地下に予備の台所、寝室など持っています。直撃されたらとっとはや避難すること覚悟の上なのでしょう。日本では少なくとも公共の建物は予想される地震、台風には耐えられる様設計されているが、思想の違いと興味深く思えた。

イツ車ベンツ(オモチャ)をハシで掴んで今にも口に入れるような絵が載せられている。一頁を開くと、大きな活字で書かれている見出しの記事「一体、日本人はドイツ車ベンツまでも喰べる気なのだろうか」というの

には、全く驚きました。一般的にいえば、ドイツ人の中には、親目的な人が多く、小生、下宿でも、大学の研究室でも、快適な日々を過ごすことができ、生涯を通じての大きな体験として脳裏に残るものと思えます。

せんが、時間にとらわれず図書館が利用できるのも、手もとに置く必要はないのでしよう。貸出し窓口など大部分学生のパートです。パートにより人員の配置が自由にできるためこのようなことが可能なのでしよう。その他スクールバスの運転手、冬の除雪など学生が行っている。大学の案内書を見ると、学生に対する援助のかなりの部分をこのようにな仕事に対して与えられている様です。

せんが、時間にとらわれず図書館が利用できるのも、手もとに置く必要はないのでしよう。貸出し窓口など大部分学生のパートです。パートにより人員の配置が自由にできるためこのようなことが可能なのでしよう。その他スクールバスの運転手、冬の除雪など学生が行っている。大学の案内書を見ると、学生に対する援助のかなりの部分をこのようにな仕事に対して与えられている様です。

マンハッタンの思い出

農化36年卒 團野源一

インビス(居酒屋)にて「Inbis」辞書には「軽食堂」と書いています。西独の中央駅、街角、いたる所に見られる看板の文字です。ここは、庶民の憩いの場のようなものです。料金も良心的で、ウインナーソーゼージ、フ



ハンブルグ大学有機化学および生化学研究所

色豊かな雰囲気でした。研究室のメンバーは修士以上で学部生はいません。器械の種類も多く、最新ののもよくそろっています。しかし学部全体でみると

慣となつていて、最近予算面でも自由になっているためかもしれないが、私のもつていましたイメージとはかなり異なりました。しかし研究を進める上での効率という面からは考えさせられるところがあります。

食品について——全粒粉(麩、胚芽も含む)のパンがかなり消費されている。風味、舌触りも悪いが、今日では市場の30%を占めているとのこと。ビスケット等にも全粒粉、オートその他穀類入りのも

ら30%、砂糖を含んだ食品から30%を占めているとのこと。舌で実感できました。米国では野菜は冷凍か缶詰と聞いていましたが、実際は新鮮なものが豊富です。果物なども大小とりまぜ山積みされている。傷物も混じっている。客が買う時選品することになり、上品な老夫婦がスクラップを一粒ずつ袋に入れていた。よく揃った外観の良いものも並べられている。これは相当に値が高い。消費者が外観などに気にならないことで、生産、流通コストを下げている様子です。

日本住所調査センター

兵庫農大・農芸化学科第16回卒 代表取締役 上垣豊

- ☑ 得意先 高校及び大学の同窓会。
- ☑ 業務内容 同窓会員の住所調査を専門業務とする日本唯一の会社。
- ☑ 特徴 極めてユニークな業務内容のため、受注努力が殆んど不要。当社の営業活動は、年1回のDMと得意先の口こみ宣伝だけです。
- ☑ 提携会社 名簿作成時に於ける電算写植方式の導入技術では、最も進んでいる凸版印刷(株)と提携しています。

当社は昭和53年に創立されて以来順調に参りましたが、更に大きく発展するため、優秀な人材と代理店を募集しています。六篠会員の皆様の中で協力して見ようと思われる方は是非ご連絡下さい。代理店(取次所)は、自営なさっている方の副業として最適です。又、人材募集にあたっては、脱サラをと考えられているようなファイトマンを1~2年後には独立可能です。詳細につきましては下記までご連絡下さい。

大阪市淀川区西中島5丁目7番14号大京ビル801 ☎06-305-4848

神戸大学農学部は昭和24年4月に農学部農学科として...

昭和26年には既設の農芸化学関係3講座と畜産学1講座にそれぞれ、3講座及び5講座が増設されて農芸化学科と畜産学が誕生した。

昭和29年には農学科はさらに増設整備され、作物学第1(普通作物学)、同第2(工芸作物学)、育種学、栽培学、作物保護学第1(昆虫学)、同第2(病理学)、園芸学第1(果樹園芸学)、同第2(蔬菜園芸学)、農業経済学、移民学、農業工学、

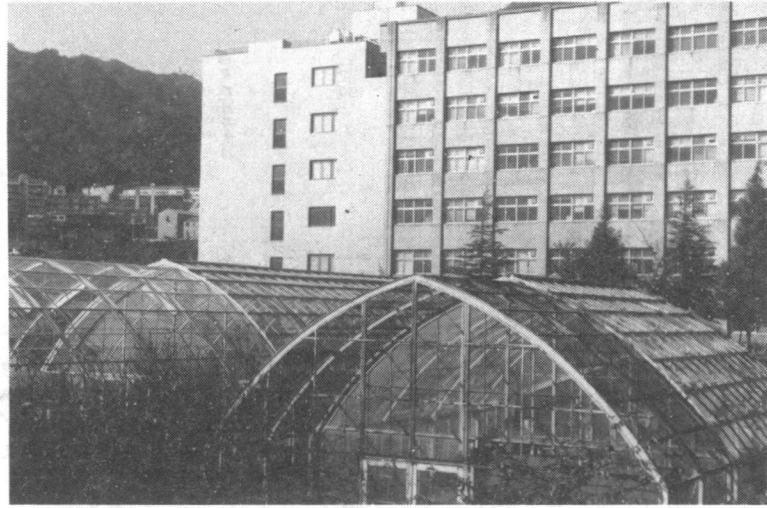
学部紹介

植物防疫学が発足したのは昭和三十九年のことである。兵庫農科大学創立以来着々と整備は進んで来たが、国立移管と農学部再編成問題の嵐の中で、東京農工大について、第二番目の植物防疫学が発足した。成立当時の植物保護系の他大学教官から、大いにうらやましがられた。植物保護あるいは作物保護の理念から生れた学科学科であるが、農工大と異なった考え方がある。すなわち農工大では栽培学を中心として植物病理・昆虫・農業を配しているが、本学では生物学の基本ともいふべき遺伝学を防疫遺伝学として取入れている。既設の講座を再編成するのであるから無理を承知という人々もあるが、害虫や病気に対する作物の抵抗力、あるいは農業に対する植物病原菌や昆虫類の抵抗性問題は遺伝学

園芸農学科

寺分元一

園芸農学科は昭和33年に園芸農学科として設立されたが、昭和39年に園芸農学科(現在の熱帯園芸学)と改組された。園芸農学科は昭和39年45名の大世帯になったが、園芸農学科は昭和39年45名の大世帯になったが、園芸農学科は昭和39年45名の大世帯になったが...



今日では極めて普通の言葉となつていますが、最初の頃は、貿易作物を扱う学科学科かと思われ、話の通じないことが多く、何度も説明さ

植物防疫学

奥谷楨一

今日では極めて普通の言葉となつていますが、最初の頃は、貿易作物を扱う学科学科かと思われ、話の通じないことが多く、何度も説明さ

昭和56年度

六篠会役員

- 会長 西川 欣一 (A1)
副会長 東 順三 (C1)
常任幹事
幹事長 新家 龍 (C5)
庶務 中田 昌伸 (C10)
会計 前川 進 (A3)
会報 寺井 弘文 (A神3)
名簿 水上 雄三 (Z6)
監事 脇内 成昭 (C15)
幹事 山本 博昭 (A12)
切貫 武代 (K1)
浦岡 睦 (A7)
石田 陽博 (A2)
久保 一兵 (C2)
能宗 康夫 (C2)
藤井 聡 (C5)
進藤 恭 (Z5)
北浦 義久 (A6)
酒井 進 (C7)
辻 荘一 (Z12)
永吉 照人 (A13)
山本 和人 (T神4)
三十尾 修司 (A神6)

編集後記

会員諸兄にはお健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。六篠会報第3号を昭和54年12月に発行して以来、3年ぶりに第4号をお届けする運びとなりました。したがって会計報告は2年分を掲載させていただきます。第1面は全体ニュース、第2面は集記事、第4面は事務局関係記事を一応の目安にして編集致しました。第2面の記事については、一部は「会報」担当より依頼して原稿を書いていただきました。第1面の学部部長挨拶、第4面の学部紹介の記事は、お忙しい中、三人の先生に無理を言

庶務報告

役員会報告
昭和55年4月25日
定期役員会 於金龍閣
昭和54年度経過報告ならびに会計報告
昭和55年度役員選出
○入会金納入状況について
昭和55年7月14日
定期役員会 於農学部
○入会金納入状況について
昭和55年4月25日
定期役員会 於農学部
昭和55年度経過報告ならびに会計報告
昭和55年度役員選出
○昭和56年度事業計画

Table with 4 columns: 専攻, 大講座, 教育研究分野, 学部講座. Lists various departments like 資源生物科学, 生物生産, 熱帯資源植物学, etc.

訃報

望月明先生(神大名誉教授・防疫遺伝学)は昭和五十五年六月二十一日脳出血のため逝去され、京都市左京区一番地樋ノ口町二十二の自宅で葬儀が行われました。享年六十五歳でした。小泉武紀先生(元農業機械学講師)は昨年九月十三日クモ膜下出血のため逝去され、岩手県盛岡市下厨川赤平四番地の自宅で葬儀が行われました。享年四十五歳でした。ここに謹んで両先生の御冥福をお祈りいたします。

会計報告

昭和55年度六篠会学術振興基金決算報告書

Table with columns: 前年度繰越金, 本年度支出金, 本年度入金, 繰入金, 繰上金, 繰下金, 繰合. Shows financial data for the 55th year.

監査の結果誤りないことを認める。昭和56年4月20日 浦岡 睦 切貫 武代司

昭和54年度一般会計決算報告書

Table with columns: 前年度繰越金, 本年度支出金, 本年度入金, 繰入金, 繰上金, 繰下金, 繰合. Shows financial data for the 54th year.

監査の結果誤りないことを認めます。昭和55年4月12日 藤井 聡 浦岡 睦

昭和54年度六篠会学術振興基金決算報告書

Table with columns: 前年度繰越金, 本年度支出金, 本年度入金, 繰入金, 繰上金, 繰下金, 繰合. Shows financial data for the 54th year.

監査の結果誤りないことを認めます。昭和55年4月12日 藤井 聡 浦岡 睦

昭和55年度一般会計決算報告書

Table with columns: 前年度繰越金, 本年度支出金, 本年度入金, 繰入金, 繰上金, 繰下金, 繰合. Shows financial data for the 55th year.

Table with columns: 前年度繰越金, 本年度支出金, 本年度入金, 繰入金, 繰上金, 繰下金, 繰合. Shows financial data for the 55th year.

昭和55年度記念出版物特別会計決算報告書

Table with columns: 前年度繰越金, 本年度支出金, 本年度入金, 繰入金, 繰上金, 繰下金, 繰合. Shows financial data for the 55th year.

昭和54年度六篠会学術振興基金決算報告書

Table with columns: 前年度繰越金, 本年度支出金, 本年度入金, 繰入金, 繰上金, 繰下金, 繰合. Shows financial data for the 54th year.

監査の結果誤りないことを認めます。昭和55年4月12日 藤井 聡 浦岡 睦

創立30周年記念事業会計決算報告書

Table with columns: 前年度繰越金, 本年度支出金, 本年度入金, 繰入金, 繰上金, 繰下金, 繰合. Shows financial data for the 30th anniversary.

昭和54年度六篠会学術振興基金決算報告書

Table with columns: 前年度繰越金, 本年度支出金, 本年度入金, 繰入金, 繰上金, 繰下金, 繰合. Shows financial data for the 54th year.

昭和54年度六篠会学術振興基金決算報告書

Table with columns: 前年度繰越金, 本年度支出金, 本年度入金, 繰入金, 繰上金, 繰下金, 繰合. Shows financial data for the 54th year.

監査の結果誤りないことを認めます。昭和55年4月12日 藤井 聡 浦岡 睦